

【ライフサイエンス特集】

医療用 IT 製品の認定システム導入に向けた最終段階へ（米国）

医療 IT 認定委員会（CCHIT¹）は、外来診療用 IT 製品向けの認定システムの導入に向け最終段階を迎えており、一般からの意見を聴衆している。インディアナ大学 (Indiana University School of Medicine) は、AHRQ² National Resource Center for Health Information Technology (2005 年 12 月) の中で、医療システムが分散化していることによって、近年様々な重複や非効率な問題が生じていることを指摘している。具体的な数値として、鼻炎の子供への抗生物質投与の 3 割、2 割から 5 割の外科的処置、背痛検査の X 線検査の 5 割が本来は不必要であるにも関わらず実施されている可能性があるとし、検査の重複、不適当な書類処理、判読不明の書類によって生じた事故、医療利用の肥大化によって治療費が増大したこと、そして治療時間が短縮化され過ぎていること等に警告を発している。こうした問題を抜本的に改善するために、医療の IT 化を更に進めることが必須の状況にある。

2004 年 4 月に、米大統領は 10 年以内に様々な分野の健康情報技術(HIT³)の開発が必要であるとし、この方針を受け、政府は全米医療 IT コーディネータ室(ONCHIT⁴)とアメリカ健康情報コミュニティ(AHIC⁵)を米国厚生省(HHS⁶)内に設立した。同年にまとめられた健康情報技術報告書は、医療向け IT 製品を一層普及させるために、民間セクターが医療用 IT 製品を認定する手法の開発が必要である旨を謳っている。これを受け、健康情報管理協会(AHIMA⁷)、健康情報と管理システム・ソサエティ(HIMSS⁸)、健康情報技術全米同盟 (Alliance⁹) の 3 機関は一昨年 7 月に共同で医療 IT 認定委員会を設立し、民間セクターの立場から医療向け IT 製品認定のイニシアティブを取ることとした。昨年 9 月、CCHIT は米国厚生省から 3 年契約の受託を得て、医療機器の評価方法の開発、外来看護や入院患者に関する電子医療記録 (EHR¹⁰) 導入に向けたインフラ整備、ネットワーク・コンポーネント (相互運用性) といった 3 領域に対する開発を行うこととなった。これにより、米国では 2024 年までに電子医療記録 (HER) の普及率が 86.6%に達すると予測している。

¹ The Certification Commission for Healthcare Information Technology

² Agency for Healthcare Research and Quality's (AHRQ)

³ The Health Information technology

⁴ The Office of the National Coordinator for Health Information Technology

⁵ The American Health Information Community

⁶ The Department of Health and Human Services

⁷ The American Health Information Management Association

⁸ The Health Information and Management Systems Society

⁹ The National Alliance for Health Information Technology

¹⁰ Electronic Health Record

CCHIT の作成したロードマップによれば、フェイズ 1 は 2005 年 10 月から 2006 年 9 月までであり、外来看護を対象とした電子医療記録関連の製品の認定方法の開発及びその評価を行うとしている。本年 6 月までには、認定を受けた EHR 製品の市場投入、同年 9 月には電子処方箋及び電子医療記録のラボ間での相互運用性への認定を開始するとしている。フェイズ 2 は 2006 年 10 月から 2007 年 9 月とされており、この間に入院患者を対象とした電子医療記録関連製品の認定方法の開発、初期テスト及び評価を実施する。そして、フェイズ 3 は 2007 年 10 月から 2008 年 9 月までとなっており、電子医療記録の採用に向けたインフラ、ネットワーク上の相互運用を可能とする電子医療記録関連製品の認定方法の開発、初期テスト及び評価までを実施するとしている。

CCHIT によれば、フェイズ 1 の認定テストに約 30 社からの申請があり、この中から任意に 6 社を選定し、本年 3 月に評価、その結果は 6 月に発表予定となっている。今回選定された企業の 1 社¹¹である ALLSCRIPTS HEALTHCARE SOLUTIONS, INC.¹²は、1986 年にイリノイ州に設立、主に外来病院の医師を対象に電子的な医療記録と病院情報ソリューションを提供しており、既に HP iPAQ Pocket PC 上で動作する TouchWorks ソフトウェアを提供している。TouchWorks はワイアレス端末、タブレット PC、デスクトップ PC などを通じ、処方箋の記載、料金、医療指示、トレーニング、患者への教育、医療処置の記録などの機能を有している。今回認定を受けることにより、同製品の全米内への普及促進に大きな効果があると見ている。

図表：TouchWorks イメージ画像



出典：ALLSCRIPTS HEALTHCARE SOLUTIONS, INC.

CCHIT 初期プログラムに 21.9 万ドルの基金を提供しているカリフォルニア医療財団(CHCF¹³)は、2005 年 5 月 Electronic Health Record (EHR) Product Guide と題する調査報告書をまとめており、Community Clinics Initiative (CCI)との共同作業によ

¹¹ CCHIT としては、6 社の名を公開していない。しかし、企業による情報開示にも制限をかけておらず Allscripts のように自社プレスを発表している場合もあった。

¹² <http://www.allscripts.com/>

<http://www.pharmalive.com/News/index.cfm?articleid=314988&categoryid=23>

¹³ The California HealthCare Foundation

り 12 社¹⁴ の EHR 製品の評価を実施している。

以上

参考資料

The Certification Commission for Healthcare Information Technology
<http://www.cchit.org/>

The Certification Commission for Healthcare Information Technology
Presentation
http://www.cchit.org/files/CCHIT_Town_Hall-HIMSS_Conf-060214.pdf

The Certification Commission for Healthcare Information Technology
A Briefing for the American Health Information Community
<http://www.cchit.org/files/CCHIT%20-%20Mark%20Leavitt%20-%20AHIC%20Jan%2017%202006.pdf>

Getting Started with
Health IT Implementation
Indiana University School of Medicine
http://healthit.ahrq.gov/portal/server.pt/gateway/PTARGS_0_74907_0_0_18/Health%20IT%20Implementation.ppt

Equinox News January 2006
<http://www.chsbuffalo.org/documents/EQNews%20Jan06.pdf>

The Certification Commission for Healthcare Information Technology (CCHIT)
Certification Process Description
DRAFT V1.0 September 7, 2005
<http://www.cchit.org/files/Certification%20Process%20Narrative.pdf>

Electronic Health Record (EHR) Product Guide
http://www.communityclinics.org/files/791_file_EHR_Product_Guide_051105.pdf

¹⁴ Allscripts Healthcare Solutions 社、Companion Technologies 社、eClinicalWorks 社、e-MDs 社、GE Healthcare 社、InteGreat 社、MDServe 社、Misys healthcare Systems 社、NextGen Healthcare Information 社、Systems 社、Physician Micro Systems 社、WebMD Practice Services 社。